

2015年(平成27年)2月9日(月曜日)

物流Weekly

60周年「感謝の会」開く

アサヒロジステイクス



60周年を祝して鏡開きが行われた

【埼玉】アサヒロジステイクス(横塚元樹社長)は4日、設立60周年記念「感謝の会」を開催。荷主企業や取引会社、関係団体など500人が出席した。

同社は、横塚社長の祖父である元吉氏が昭和30年に設立、トラック5台、従業員13人でスタートした。設立から60年が経過し、トラック900台、従業員3500人、売り上げも年商200億円を達成するまで成長。感謝の会には、成長の礎ともなった荷主企業やオコノの会長らも出席し、60周年を祝った。

また、今期で正秋氏が会長を退任し、来期からは取締役相談役となり、経営の第一線から退くことを明かした。創業者の後を受け、第2次創業期として強力なリーダーシップで同社をけん引。埤ト協会長など業界団体の要職も歴任した正秋会長はあいさつで、60年の軌跡を振り返った上で「ここに立つ心境は『おかげさまで』がピッタリとあてはまる」と、参加者らへ感謝の意を表するとともに「厳しい時代をチャンスと捉え、今後もそれぞれの家庭へ良い商品を届けていたきたい」とエールを送った。星野良三全ト協会長が業界代表として祝辞を、また、上田清司知事も祝辞を述べた。岩澤勝嵐山町長の乾杯で始まった祝宴で、水墨画のパフォー



横塚元樹社長

述べた上で、「物流業界の魅力的な将来は、我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう

我々がどう考え、どう